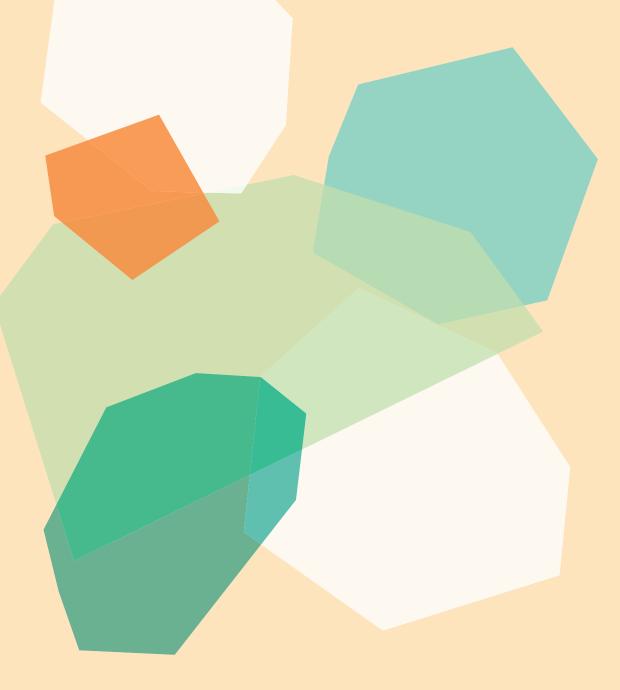
精神科看護職の「成長したい!」を支える

NISSEIKAN STUDY GUIDE



2024

日精看スタディガイド 2024 日本精神科看護協会

精神科看護職の「成長したい!」

一般社団法人日本精神科看護協会(略称:日精看=にっせいかん)は、活動理念を実現するために教育目的を掲げ、さらに 毎年定める重点項目をふまえて教育事業を行っています。あなたの「成長したい!」にぜひご活用ください。

✓ 私たちがめざすこと

活動理念 ▶ こころの健康を通して、だれもが安心して暮らせる社会をつくります。

活動理念の実現に向けて



時代の変化に対応できる 看護の知識・技術・思考を身につけ、 信頼される看護を実践できる 看護職を育成する

精神科看護の対象者と 活動領域を広くとらえ、 当事者およびすべての関係者を包含した 看護を創造できる看護職を育成する

日精看が育成する看護職像

病態を含めた対象理解が でき、対象者がその人らし い生活をおくるための看護 を実践できる看護職

患者の尊厳を守るための 感性をみがき、自分の考え を表現できる看護職

キャリアに応じた組織の変 革・発展に必要な専門的能 力、対人関係能力、概念化 能力を備えた看護職

精神障がい者が地域で自立 した療養生活を実現・継続 できるよう、地域に目を向け た看護を実践できる看護職

特に今年度は



2024年度 重点項目

精神科看護職の人権意識を高め、 倫理的感受性をみがくための 教育活動を強化する。

精神科看護の対象となる人々の治療・看 護のあらゆる局面においてアドボケイト(権 利擁護者) としての役割を担うことについ て理解し、実践することを促進する。

照らし合わせて考え、倫理的感受性をみ がくための研修会を本部および全支部で習得し、実践することを促進する。 企画・実施する。

身体的拘束を減らすための 看護実践の知識・技術の向上に 向けた教育活動を行う。

常に身体的拘束が必要か否かを問い続けな がら、対象となる人々とその方を取り巻く環 境を含めて理解・アセスメントし、身体的 拘束を減らすための看護実践を促進する。

精神科看護職の倫理綱領と現場の状況を 身体的拘束の早期解除に向けた、安全で 質の高い看護を行うための知識・技術を

2

精神科看護職が多機関連携による迅 速・円滑な地域移行・地域定着を主 体的にすすめるための教育活動を行う。

入院当初から対象者の退院後の地域生活 を想定してかかわり、医療機関と地域の関 係機関の連携を強化するために、関係す る職種それぞれの役割を理解し、協働を 意識した実践を促進する。

を支える日精看の教育事業

✓ いろいろな学びの機会があります

継続学習にかかわる研修会	P.4-15	「精神科看護職のクリニカルラダー」 (日精看版ラダー) をふまえて 精神科看護実践能力に応じた研修会を行います
看護管理にかかわる研修会	P.15	精神科看護管理者に必要な知見を得られる研修会です
診療報酬の算定にかかわる研修会	P.16	診療報酬の算定に関する要件を満たす研修会です
看護実習指導者講習会	P.18	厚生労働省の示す基準に応じたプログラムで実習指導者を養成する講習会です
日本精神科看護学術集会	P.18	全国各地から精神科看護職が集まる日精看の学術集会です
精神科認定看護師制度	P.19	質の高い看護を実践できる精神科認定看護師を養成します

支部主催研修会

日精看の支部がそれぞれの都道府県で開催する研修会です。開催情報は 日精看オンラインから「manaable(マナブル)」にアクセスしてご覧いただけ ます。申し込みやキャンセル等、開催についての詳細は支部事務局 (日精 看オンラインに掲載)へお問い合わせください。

✓ 本部主催の研修会が さらに受講しやすくなりました

オンライン研修(「オンデマンド配信」と「ライブ配信」)と 集合研修を行います。

オンライン研修

くオンデマンド配信>

ビデオ学習のように一方向で講義を受ける形式で、配信期間中はイン ターネット環境があればいつでも何度でも視聴できます。2024年度は 精神科看護の実践に必要な基礎知識を中心にオンデマンド配信します。

くライブ配信>

リアルタイムで配信を行います。決められた時間にインターネットでアクセ スする必要がありますが、オンデマンド配信とは違い、講師や受講者同 士で双方向のコミュニケーションが可能です。

集合研修

事例検討会やフィジカルアセスメントなど、ディスカッションや演習を含む 研修会は会場に集まる集合形式で実施します。会場の所在地等は 「manaable (マナブル)」でご確認ください。また、事情により開催 方法を変更する場合も「manaable (マナブル)」でご案内をさせてい ただきます。

お問い合わせ (日精看本部事務局)

〒108-0075 東京都港区港南 2-12-33 品川キャナルビル 7F TEL 03-5796-7033 / FAX 03-5796-7034

※電話でのお問い合わせは、平日の午前8時~午後5時までにお願いします。研修会が開催される土 日祝日はその限りではありません。

✓ 申し込み方法

研修会システム「manaable(マナブル)」からオンラインで行います。 詳細は本冊子の裏表紙でご案内しています。

✓ 情報発信

日精看オンライン



精神科看護の情報プラットフォームとして、日精看の教育事業に関する 内容を含めさまざまな最新情報を発信。公式LINEや公式X、メール マガジン等の日精看ソーシャルアカウントにもご登録いただけます。

日精看ニュース



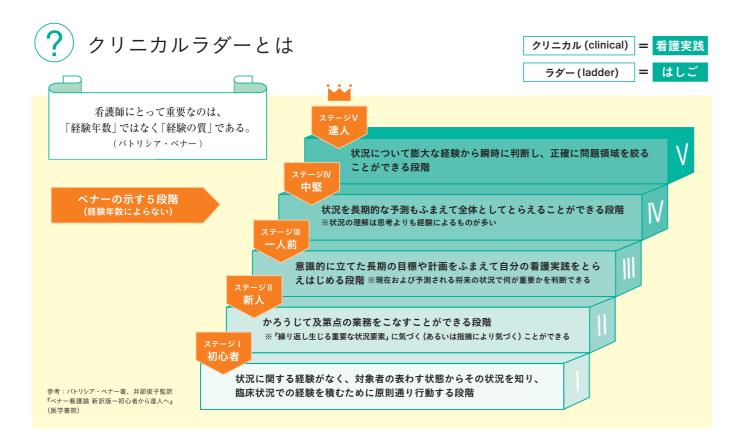




日精看が発行している情報誌です。会員のみなさまへお届けしていま す。日精看版ラダーや学術集会、精神科認定看護師制度など教育 事業をテーマにした連載や特集が盛りだくさん。

精神科看護職のクリニカルラダー 「日精看版ラダー」をご活用ください

日精看では、4 つの看護職像 (P.2) の育成にむけて、たしかな精神科看護の実践能力を身につけるための継続学習支援として、2022年度 (令和4年度) に「精神科看護職のクリニカルラダー」(日精看版ラダー) を公表しました。



看護職の能力開発・評価システムの1つです

「クリニカルラダー」は、看護教育の第一人者であるアメリカの看護理論家、パトリシア・ベナーの看護論をもとにした能力開発・評価システムです。「初心者」「新人」「一人前」「中堅」「達人」の5段階に分類され、到達段階に応じた看護実践能力が示されています(上図)。ポイントは、看護職にとって重要なのは「経験年数」ではなく「経験の質」であるという点です。つまり、経験年数を目安に「3年目になれば一人前」「15年経ったから達人だ」とはいえず、その人がもつ看護実践能力によって到達段階の評価が可能になるという考え方です。

活用することで、個人にも組織にもメリットがあります

- ◎各段階の到達目標を示しているので、自身が到達している段階や次のステップに向けた課題を確認でき、自己評価や継続学習の指針になります。
- ◎段階ごとに期待される看護実践能力が示されているため、<u>多様</u>なバックグラウンドをもつ看護職に対応できます。
- ◎段階が上がると、活動が広くなったり、深くなったり、新たな役割を担うようになるため、仕事のやりがいにつながります。
- ◎教育担当者や管理者が、スタッフの人材育成や能力開発に活用することができるため、組織の成長を実現できます。

「日精看版ラダー」作成の背景

- ●多様なバックグラウンドに対応するため
- どこにいても必要な教育が受けられるように

●難しい継続教育をサポートする

- 教育背景や臨床経験、プライベートの背景など、職員のバックグラウンドが多様 化しているため、看護職個々の実践力や経験を活かしながら精神科看護の実践力 を高める教育の仕組みが必要!
- 日本全国、どのような精神科看護実践の場であっても精神科看護実践に必要な 教育が受けられる仕組みが必要!
- 何事にも柔軟に対応していける精神科看護のプロフェッショナルに成長するために 学び続けていく必要がある。精神科看護職の成長にはその指針が必要!

)精神科看護職の成長をサポートする「日精看版ラダー」

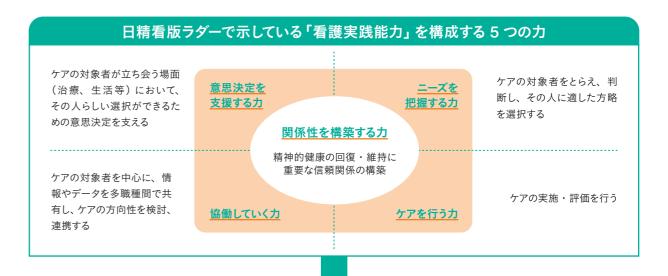
精神科看護の職能団体として、日精看は「精神科看護職のクリニカルラダー」(日精看版ラダー)を作成しました(詳細はP.6 \sim)。 2022 年度(令和4年度)より、日精看本部主催の研修会は、この「日精看版ラダー」にもとづいて行われています。

日精看版ラダーの主なポートのでは、オールの主なポートの生なポートの主なポートの生なポートの主なポートの生なーの主なポートの主なポートの主なポートの主なポートの生なポートの生なポートの生なポートの生なポートの生なポートの生なポートの生なポートの生なポートの生なポートの生なポートの生なポート

適切な 評価 看護実践の場や、看護職の背景にかかわらず、 すべての精神科看護職に共通する看護実践能力を示しています

それぞれの段階に応じた精神科看護実践能力を示しています

看護実践能力の適切な評価によって 日本全体の精神科看護の質の担保・保障につながります 日精看版ラダーの がでの人々に対して、安全で、安心できる 高品質な看護を 提供することができます



看護実践能力を高める!精神科看護職が成長するために必要なこと

OJTにより、精神科看護職としての知識や 技術、考え方、姿勢を身につけること 看護実践能力が自己および他者により 適切に評価されること 自身の現状、課題、そして次のステップに 向けて取り組む方向性が明確であること



日精看版ラダー詳細

次ページ

研修会一覧

P.12

各種資料やツールをご活用ください

日精看オンライン

日精看の継続学習支援
はせ754-04-07-188AT&04-17





日精看版ラダーの導入や活用、運用に役立つ動画などさまざまな資料やツールをご用意しています。『日精看ニュース』連載「密着!日精看版ラダー導入への道」もまとめてご覧いただけます。また、会員専用ページでは「日精看版ラダー」Excel版 (チェックボックス付)もダウンロードできます。

本冊子の特別付録ポスター

日精看版ラダーに、レベルや項目に合う 2024年度研修会名を併記した特大ポスター (A1サイズ)を本冊子と一緒に会員施設へお届けしています。病棟の休憩室や看護部などに掲出する、会議室でテーブルに広げて今後の計画に役立てるなど、ぜひご活用ください。



┃精神科看護職のクリニカルラダー(日精看版ラダー)━━━━━

到達段階		レベル	レベル	レベル	レベルIV	レベルV
到達目標		 ●基本的な看護手順に従い、必要に応じて助言を得ながら、安全 に看護を実践できる。 ●部署のマニュアルを活用し、看護を実践できる。 ●自己の教育的課題を発見し、主体的に学習できる。 ●社会人として、組織の一員であることを理解し、職場のメンバーとしての役割を全うできる。 	 ●根拠のある判断、看護実践ができる。 ●対象者の希望をふまえ、看護計画に基づいて、自立して看護を実践できる。 ●自己の教育的課題達成に向けた教育活動を展開することができる。 ●判断に迷うときは、自ら他者に相談し、メンバーシップを発揮して看護を展開できる。 ●対象者とのかかわりのなかで自身の課題を明らかにすることができる。 ●所属施設の理念や方針を理解し、組織の一員として、自覚ある行動ができる。 ●コスト意識を持つことができる。 	 ●対象者の個別性を理解し、状況に応じた看護を実践できる。 ●自身の課題を克服しようと取り組み、自身の強み、弱みを意識して、自身の持ち味を活かした看護ができる。 ●自己の教育活動に積極的に取り組むことができ、指導的役割も意識して行動することができる。 ●組織の一員として、効果的かつ効率的に業務を行えるよう、メンバーや多職種と協働できる。 ●所属施設や部署の目標達成に取り組むことができる。 	●全人的に対象者をとらえ、幅広い視野と予測的な判断をもって、対象者中心の看護を実践できる。 ●対象者の満足度を高めるために、チーム全体の動きを把握し、リーダーシップを発揮した行動ができる。 ●医療全体を理解するために、広い視野で必要な知識を獲得できる。 ●精神科医療の現状をふまえて、自分の役割を理解して、業務が効果的かつ経済的に効率よく行えるようスタッフに指導的にかかわることができる。 ●所属施設や部署の理念と方針をふまえて自己の役割を考え、主体的に行動できる。	●より複雑で対応困難な状況において、最良な手段を選択し、対象者の満足度、QOLを高められるよう高度な看護を実践できる。 ●役割モデルを意識しながら指導にあたり、現状にとどまらず、対象者のために看護を追求し続ける姿勢を持ち、創造的な看護実践を行うとともに、多職種と協働できる。 ●対象者を尊重できる看護職の育成に携わり、広い視野で教育的な役割をとることができる。 ●精神科と療の現状および所属施設の理念や部門の目標を理解し、積極的に職場の改革に参画し、看護の質向上のために変革的な行動ができる。
喪	A 票】関係性を構築する力	対象者に関心を向け、対象者の視線や表情、雰囲気、態度から 相手の思いを察知し、工夫しながら関係性をつくることができる。	受容的、支持的な態度でかかわり、対象者から信頼してもらえる 関係性をつくることができる。	対象者の対人関係能力が高められるよう、看護職自身の抱いた疑問や異和感、感情を意図的に利用することができる。	複雑な状況下にある対象者らと、相互にゴールを共有し、協働を 意識した関係性を築くことができる。	複雑な状況下にある対象者らと、自律に向けた関係性を深めることができる。
実 践 A1 能 力	関係構築	●普段のかかわりの場面から、対象者のベースを尊重し、脅かさずに一緒に過ごすことができる。●対象者の訴えを否定せずに聴き、対象者の体験を理解しながら、あるがままを受け入れることができる。	 ●対象者と対象者をとりまく人々に関心を示し続け、その背景や状況をふまえ、両者を尊重しつつ、看護職として何とかしたいという思いでかかわることができる。 ●対象者の年齢や状況、疾患の特徴に応じて、かかわるタイミングをはかり、対象者を尊重して対話ができる。 	 対象者と対象者をとりまく人々のできていることや、わずかな変化に気づくことができる。 対象者に肯定的にフィードバックをしたり、意図的に気にかけていることなどを伝えることができる。 看護職自身が感情や行動を振り返る機会をもち、分け隔てなくかかわることができる。 	●複雑な状況下にある対象者と対象者をとりまく人々のために何かできないかを常に考えながら、相互に目標を共有し、実施・評価する際に対象者らの参加を促し、かかわりを続けることができる。 ●どのような状況にあろうとも、対象者自身の気持ちや困っていることを表出できるように、根気強くかかわることができる。 ●表出されたことについて意見を交わし、相互に理解することができる。	 ●複雑な状況下にある対象者と対象者をりまく人々との関係形成のプロセスをアセスメントし、対象者と看護職の相互作用によって自律に向けた関係性を築き、かかわりを続けることができる。 ●対象者の状態をみながら段階的にアプローチし、対象者が自己を理解し、自己決定ができるようにかかわることができる。
A2	看護倫理	●看護職の倫理的行動について理解し、対象者の権利を尊重した 看護の必要性を理解できる。	●倫理的視点を意識して看護実践できる。また、看護場面において、 倫理的なジレンマに気づき、それを言語化し、相談できる。	●看護場面での倫理的ジレンマや問題に対して常にアンテナを立て、察知したこととその理由を言語化し、他者と共有、意見交換することができる。	●些細と思える倫理的問題に対しても、それを顕在化し、互いの 価値観を尊重しながら、十分話し合い、チームで合意形成する ことができる。	●倫理的問題に対してリーダーシップを発揮して解決に向けた行動 ができる。メンバーに対して、倫理的課題解決のための指導・ 支援ができる。
項目	B 票】ニーズを把握するカ	対象者の言葉や行動などから日々のニーズを考えることができる。	対象者の過去から現在までの状況を理解したうえで、日常生活上 のニーズを中心にとらえることができる。	対象者および対象者をとりまく人々の個別的なニーズをとらえることができる。	対象者および対象者をとりまく人々のニーズを、QOLを意識して多 角的にとらえることができる。	医療チームと連携し、対象者および対象者をとりまく人々の真の ニーズをとらえることができる。
B1	情報収集	●対象者の反応や言動を観察し、基本的ニーズにかかわるセルフケ ア要素の情報を得ることができる。	●対象者の疾患による症状や障害の程度をみながら現在の困りごと や辛さ、孤独と付き合い、安全を保つ能力にかかわる情報を得る ことができる。	●対象者と対象者をとりまく人々から、発達課題、疾患、治療に対する思い、生活上の不自由さ、それらに対する希望について情報を得ることができる。	●対象者や対象者をとりまく人々から希望をひき出し、多職種が有する情報も含め、情報を得ることができる。	●対象者と対象者をとりまく人々の生活について、多角的に情報を 得て、整理し、表面化していない真のニーズに関する情報を意図 的に得ることができる。
B2	価値観や信条	●対象者の趣味や好きなこと、大切にしているものや習慣、気がかりや関心などの情報を得て、対象者の価値観や信条を知る手がかりを得ることができる。	●日常のかかわりのなかから、生活習慣や家族背景、病状に関する思い、将来の希望や不安に関する情報を得て、対象者の価値観や信条について理解できる。	●意図的なコミュニケーションにより、対象者の価値観、信念、 信条、および生き方についての希望を理解できる。	●対象者の感情表出を促すコミュニケーションを実践し、QOLにかかわる思いを理解し、その思いの実現に向けた対応を見出すことができる。	●対象者の社会面や精神面の課題が多様で、複雑な状況において も、多職種と協働し、対象者のQOLが高められるように介入す ることができる。
В3	アセスメント	●対象者の現在のセルフケアレベルを把握し、セルフケア不足が生じた要因について考えることができる。	●対象者のセルフケア不足の要因を、病気や治療の経過と併せて アセスメントし、疾病や生活への認識を確認しながら日常生活 上の留意点や介入の優先順位を判断できる。	●対象者のセルフケア不足の要因を分析し、本人の現状の受けと めや希望を確認したうえで、個々にあった生活についてアセスメ ントし、介入方法とタイミングを判断することができる。	●セルフケア不足の要因を多角的に分析し、対象者の苦痛と成長 発達との関連をアセスメントし、いくつかの介入方法を見出し、 介入のタイミングを判断することができる。	●日常生活を営むうえでのセルフケア不足だけでなく健康的な力も 見出したうえで、対象者の真のニーズをアセスメントし、先を予 測しながら見通しをもって今必要なケアを判断できる。
В4	精神面のアセスメント	●対象者の発言、行動、表情などから、精神症状がどの程度生活に影響しているか、なぜそのような言動になっているのかを考えることができる。●対象者の普段の様子を把握でき、普段と異なる状態があったとき、それに気づいて報告ができる。	●必要性を意識して継続観察を行い、対象者の精神機能の評価に加えて自我機能もアセスメントすることができる。●対象者の精神症状の悪化を身体疾患の要因も含めてアセスメントすることができる。	●対象者とかかわりながら精神状態をアセスメントし、対象者と共 に、個別的で希望を支えられるようなケアブランを作成できる。 また、それらを対象者・家族に説明できる。	●複雑なニーズに対応するために、現在の精神状態に影響を与えている要因を多角的にアセスメントすることができる。	●対象者の回復に影響を与えている精神的な要因をアセスメント し、対象者の意思決定や責任を負う機会をつくるなどの充実し た看護を展開できる。
B5	フィジカルアセスメント	●対象者のパイタルサインを正確に測定・判断し、その他の観察 やデータに基づき、正常・異常を判断し、報告できる。	●自立して基本的なフィジカルアセスメントができる。●対象者の観察および検査データなどから、抗精神病薬や精神科治療に伴う身体的な異常も見逃さず、報告ができる。	●抗精神病薬や精神科治療による身体への影響を予測し、的確な フィジカルアセスメントと身体的な看護を行うことができる。	●フィジカルアセスメントにより、身体的な状態をモニターし、状況や優先度をアセスメントし、チームとして適切に対応することができる。	 ●フィジカルアセスメントにより、対象者の身体状態の悪化を予測し、 切迫した状況下において優先度を判断し、リーダーとしてメンバー を指導しながら適切に対応できる。 ●精神的、身体的に重篤な症状があっても、根拠を持って必要な 看護ケアを実践できる。
В6	看護職の自己洞察・自己活用	●自分が対象者に対して個人的な感情を抱いたときに、他者に相談できる。 ●対象者とのかかわりや、他者からの指摘・助言を得て、自己の実践を振り返り、できていることとできていないことがわかる。また、できていないことを課題として捉えることができる。	 ●対象者に対する自分の感情反応に気づくことができ、助言を得ながら適切な対処ができる。 ●自ら自己の実践を振り返り、意味づけたり、他者の助けを借りて、課題を明確にし、次の実践に活かせる。また、自己の役割についても意識して振り返り、その結果を自己の行動に取り入れることができる。 	 ●看護の実践として自身の感情を適切に表現することができる。 ●自身の強みや弱みを理解でき、強みを看護に活かすことができる。 ●自己の実践や役割について、他者を活用して、自己の行動や実践の根拠を確認したり、自己の反応について振り返ることができる。また、その結果を自己の行動変容につなげることができる。 	 ●自身のかかわりを自己洞察して、俯瞰的に状況をみる力をつけ看護に活かすことができる。 ●自己の実践の根拠や自己の反応の意味について、自ら他者の意見を求めて振り返ることができる。その結果を言語化して他者と共有しながら、自己の行動変容につなげることができる。 	 ●自己理解のうえで自己への信頼を高め、看護に活かすことができる。 ●日々の実践のなかで起こる自己や他者の反応を敏感に、客観的に捉えて振り返り、意味づけ・言語化できる。また、意味づけられた実践をより適切な看護に発展させ、自らがロールモデルとなり行動できる。
В7	記録、計画立案	●精神面・身体面に関して得た情報を整理し、記録できる。 ●看護過程の基本をふまえて看護計画の立案ができる。	●看護の経過のなかで把握した情報から、対象者の希望をふまえてアセスメントした内容を記録し、看護計画を立案することができる。	●個別的なニーズにあった目標を対象者と共有し、看護計画を立 案することができる。また、情報開示も意識した記録ができる。	●現状だけでなく、先を見越した対象のニーズに対応する看護計画を立案し、対象者と共有したうえで看護チームに周知することができる。また、情報開示を意識した記録の指導ができる。	●対象者のニーズと個別性をふまえ、精神症状と付き合いながら過ごせるよう対象者と共に看護計画を立案し多職種とも共有できる。また、記録類を監査し指導できる。

到達原	设階		レベル	レベル	レベル	レベル V	レベルV
看護	項目(C 【】ケアを行う力	対象者の特徴や意向を意識しながら、安全かつ確実に日常的なケアを実施することができる	看護計画を意識して必要なケアを実施し、対象者の反応を確認し て看護計画の評価および修正ができる。	精神状態や治療を理解し、対象者の個別性に合わせたケアができているか確認し、看護計画を評価・考察し、修正ができる。	対象者の全体像から、提供されているケアを精査し、より質の高 いケアを行うロールモデルとして機能できる。	複雑な背景や状況においても、対象者にとっての最善のQOLを見 据えてケアの質の管理に取り組むことができる。
実践能力	C1	日常生活のケア	●対象者の意向を考慮して、基本的な日常生活援助を安全に実施できる。	●生活拡大を図るために、対象者とともに自立度を確認しながら 生活上の課題を把握することができる。●試行的介入をしながらケアの方法を探り、根拠に基づいて実施 できる。	●個別性のある看護計画にもとづいて、対象者のセルフケア能力を 伸ばすことを意識して、対象者の思いや理解度を考慮したケア・ 指導を実施することができる。●評価により効果的だったかかわりを指針として看護を展開で きる。	 対象者の生活に関する課題や症状を予測して判断し、対象者の能力に合わせ、適切なケア方法を提案しチームで実施することができる。 適切な時期にケアを評価し、援助の意味を考察することができる。 他の看護スタッフと意図的にかかわり、看護のロールモデルとなることができる。 	対象者の背景にある複数の問題を多角的に捉え、課題の改善や解決に向けた最適な看護を提供できる。●多職種の役割に応じた介入、コーディネートができる。
	C2	精神面のケア	●思考、知覚の障害、意欲低下、不安、希死念慮、怒り、攻撃、 暴力、多訴、対人操作、不眠など、精神症状を正しく理解し、 対応できる。	●精神症状の要因、患者の言動を精神疾患、自我機能、生活・環境的要因から理解し対応することができる。●ケア実施後の対象者の反応から症状の査定とケアの評価を行うことができる。	●対象者の不調や危機的な状況について、その出来事と、そのときの精神症状を整理し、対象者が可能な対応について対象者とともに見出すことができる。	●対象者が自ら精神症状をマネジメントしながら、自分らしい生活にむけて、自分の力や課題、自分の置かれている環境を意識して行動できるようかかわることができる。	●対象者がその人らしい生活を送れるように、また対象者が自分の精神症状や能力を自覚して生活を送れるように、対象者のパートナーとしてかかわることができる。
	СЗ	心身両面からのケア	処置)を理解し、必要な診療の補助ができる。		 ●身体疾患の状況をアセスメントし、対象の理解度や対処能力も考慮したうえで、対象者とともに課題を明確にしてケアすることができる。 ●心身相関により今後起こりえることを予測して、現状で必要な対応を提案、実施できる。 	●身体疾患に関して、対象者をとりまく人々や多職種の協力を得て、 身体疾患による精神面への影響を含めアセスメントし、対象者と ともに行動計画を立案し、対象者が実施できるように側面的な支援ができる。	
	C4	薬物療法にかかわるケア	●定時薬について、作用と副作用を意識して観察・対応できる。 ●頓服薬使用時に対象者の状態像を観察し、報告できる。 ●頓服薬使用後の効果と副作用の有無を観察し、報告できる。	●対象者に処方されている薬が何を目的として処方されているのかを理解し、その目的に合わせて対象者の変化を観察、記録、報告することができる。 ●頓服薬の作用と副作用を理解したうえで、対象者が正しく内服できるよう対応できる	●定時薬の作用、副作用を意識してモニターし、対象者の生活に合わせた薬物療法の援助ができる。●対象者が希望する頓服薬の使用の妥当性を判断し、対象者の個別性に合わせた説明や使用ができる。	●対象者や対象者をとりまく人々の薬に対する思いを確認しながら、 対象者が適切に薬物療法を受けられるよう助言や教育ができる。	●対象者の服薬行動に関して服薬を阻害する要因を明らかにし、必要な薬物療法を対象者が納得して継続できるようチームで支援することができる。
	C5	治療プログラムとケア	●グループ療法、服薬心理教育、作業療法、デイケア、訪問看護、 断酒会等に参加し、それぞれの特徴や意味について理解できる。	●対象者にとって治療プログラムがどのような意味を持つのか考えながら、一緒に参加することができる。	●対象者の治療プログラム参加状況から、生活機能や障害の程度を確認し、個々の生活を考慮したケアにつなげることができる。	●対象者が治療プログラムの意味を理解し、主体的に参加できるようにかかわることができる。	●治療プログラムを通して機能回復を支援し、回復段階に合った社 会参加に向け、対象者および地域社会に働きかけることができる。
	C6	緊急性の高い状況に対応する力	●対象者や他者の安全が保てない状況や緊急性のある状態を発見した場合、ただちにリーダーに報告し、指示にしたがって行動できる。	●緊急性のある状態を発見した場合、何が起きているか判断して 応援を呼び、自立して対応できる。	■緊急性のある事態が起こった際に、メンバーを指導しながら対応できる。	■緊急性のある事態が予測された際に、未然にそれを防げるよう対応する。また、緊急事態には、メンバーを指導しながら対応できる。	●不測の事態にもメンバーを指導しながら対応でき、客観的に状況を把握して、多職種チームの采配ができる。
	C7	行動制限のケア	●精神保健福祉法を理解し、行動制限のマニュアル等を活用しながら、対象者の尊厳を損なわずに、安全な看護を実践できる。	●対象者の行動制限において責任をもって安全な看護ができる。 また、行動制限を最小限にするための、よりよい看護についても 意図的に実施できる。	●対象者の行動制限の目的と方法が適切であるか、対象者の保護と 治療の視点から考え、必要な情報提供および対応の提案ができる。	●行動制限や処遇の適切性を、法や倫理などの視点で査定できる。●行動制限や処遇について、対象者を擁護する視点に立って多職種とディスカッションをしながら変更の提案ができる。	●行動制限最小化に向けてチームの考えを統合し方向性を見据えて、 対象者をとりまく人々と連携し、調整や交渉により、現状を打開で きる。
	C8	家族看護	●対象者の家族構成や形態、家族員の健康状態や対象者との関係 について把握できる。	●対象者の家族内での役割や家族内の勢力関係、コミュニケーションの特徴等を把握し、どのような葛藤を抱えているのかをアセスメントできる。	●対象者や家族と意図的に一緒に過ごしながら、家族関係のパターンや交流の仕方を把握し、各々の思いを率直に表出できるようかかわることができる。	●複雑な状況下にある家族をアセスメントすることができる。また、 家族個々の健康レベルの維持・向上や家族関係の改善に向けた 目標をたて、根気強く介入することができる。	●多職種と協働しながら対象者を含めた家族の機能をアセスメント し、望ましい方向性をともに考え、家族のレジリエンス機能を強化 できるようにかかわることができる。
	C9	説明責任を果たす	●行おうとするケアについて、対象者が理解できるように説明する 必要性を理解できる。	●行うケアや行われている治療について、対象者が理解できるよう、 自分の言葉で説明することができる。	●対象者や家族の思いを受け止めながら、相手に合わせた理解し やすい方法で必要な情報を提供することができる。	●対象者らの希望に添えないときでも誠実に対応し、必要な情報の 開示と説明を行い、対象者の理解を確認しながら対応できる。	●対象者らが説明内容を理解・納得したうえで内容に合意または拒 否する自主性を尊重して対応できる。
	項目に	D 【】協働していく力	対象者にどの職種がかかわっているかを知り、それぞれの職種の役割を理解し、看護職の役割を考えることができる。	対象者に必要な職種を特定し、必要な情報を共有する際に、看 護職としての意見を述べることができる。	対象者を中心に、家族や多職種とタイミングよく連携することがで きる。	多職種で目標を共有し、役割分担をして協働できるよう主体的に かかわることができる。	複雑なニーズや社会の動向に対応し、多職種連携がスムーズに行 えるよう、自律的に判断し、調整できる。
	D1	チーム医療の推進	 ●看護職の役割を理解し、看護職が得るべき情報とは何かを考え、対象者から情報を得ることができる。 ●多職種とのコミュニケーションを通して、対象者にかかわる職種の役割を知り、看護職の役割を考えることができる。 	●看護職として連携に必要な情報を明確にし、対象者から得た情報を発信することができる。 ●多職種が得た情報を自主的に収集し、関係者らとコミュニケーションを図ることができる。 ●多職種の多様な価値観や役割を理解し、各々の方針を確認することができる。	 ●対象者や対象者をとりまく人々から、看護職が得た個別的な情報を多職種に提供することができる。 ●どのような職種と連携を図ればよいかを判断し、必要なタイミングを見極めて、対象者を中心にして多職種で話し合う機会を作り、自ら参加して発言することができる。 	●対象者やその周囲の状況を広い視野でとらえ、今後起こりえる結果を予測しながら、多職種連携の必要性を判断し、主体的に連携できる。 ●対象者固有の思いや希望を対象者自らが語れるようサポートし、多職種と共有することができる。 ●円滑にサポート体制が整うようにロールモデルとなって調整できる。	 ●複雑な病状や状況においても対象者の思いを捉えて、QOLを意識したサポート体制を多職種ともにつくり上げることができる。 ●多職種連携がスムーズに行われるよう、自律的な判断のもと、積極的に、調整役を担うことができる。 ●精神科医療に関する情報を得て、現場の課題と照らし合わせて、多職種と話し合い、より良い医療提供体制の構築に取り組むことができる。
	項目E	E 】意思決定を支援する力	対象者や対象者をとりまく人々の意向を把握することができる。	対象者や対象者をとりまく人々の意向を、看護に反映させることが できる。	対象者や対象者をとりまく人々の意思決定に必要な情報を提供した り、話し合うための場の設定、意思表出をサポートすることができる。	対象者や対象者をとりまく人々の意思形成を助け、意思決定に伴って 生じる揺らぎを共有しながら、対象者の意思を尊重した対応ができる。	複雑な意思決定プロセスにおいて、多職種も含めた調整的役割を 担うことができる。
	E1	意思決定	 ●対象者や対象者をとりまく人々の思いや考え、希望を知ることができる。 ●対象者自身の言葉で語ってもらうことの意味に気づき、思いをきけるように工夫してかかわることができる。 ●対象者や家族の思いや考え、希望を、看護チームで共有することができる。 	を確認し、その背景や理由についてもきくことができる。 両者の意向が異なる場合でも、それぞれの思いや価値観に寄り 真意を汲み取る姿勢をもち、意思が二転三転したとしても、 添って、その人らしい決定を下し、それを表出できるようにかか わることができる。 か対象者や対象者をとりまく人々の思いや考え、希望が実現できる ように看護計画を立ててケアに取り入れることができる。 か対象者にかかわる複数の職種の意見や考えをきく機会を提供で 直に表出できるよう、チームで支援することができる。		●対象者の意思を尊重し、多職種を巻き込んで、納得のいく結論	 ●対象者の背景にある揺れ動く気持ちや不安を理解して、その人らしい意思決定ができ、QOLを高めるかかわりができる。 ●対象者が意思決定できるように適切な資源を積極的に活用して多職種チームで支援することができる。 ●対象者と周囲の意見が対立するような場合においても、多職種チームで対象者にかかわり続け、前向きに建設的に意思決定ができるよう調整することができる。

到達段	 と階		レベルー	レベル	レベル	レベルIV	レベルV
自己‡	項目	F 】看護力を獲得・維持・開発する力	教わる者としての姿勢や態度を考え、積極的に学ぶことができる。	経験をふまえた指導的役割を通して自らも学ぶことができる。	広い視野で必要な知識、より専門的な知識の獲得・追究に向けた 行動ができ、メンバーに対して教育的なかかわりができる。	自己研鑽でき、教育・研究活動にも自ら取り組むことができる。教育 活動について、指導的な役割を実践することができる。	精神科領域にかかわる高度な看護について自己の教育活動を展開 ができる。組織的研究活動を実践できる。
教育・研究能	F1	教育・指導	●他者に相談しながら、所属している部署に特徴的な知識や技術を主体的に学習できる。	●疾患や治療の理解を深め、看護に活かせるよう主体的に学習できる。	●実践で感じたさまざまな疑問を放置せず、それを解消するための 学習ができる。●看護実践におけるモデルとなり、新人やメンバーへの日々の指導、 および看護学生の実習指導ができる。	●所属部署の教育を担当し、学習内容の検討、学習機会の企画・実施をおこなうことができる。●長期的視野に立ってメンバーの教育・指導ができる。	●組織の看護教育計画にそった、人材育成ができる。
л Д	F2 自己啓発		●自己の実践に必要な事柄について学習方法が理解でき、自ら進 んで学習できる。	●明らかになった自己の課題の解決を意識して、その解決に向けて積極的に学習を進めることができる。	●これまでの実践や現在の役割から、必要な知識やスキルを自ら 見出し、学習計画を立てて取り組むことができる。	●これまでの実践や現在の役割をふまえた課題を明確にし、意欲的かつ継続的に学習を進めることができる。	●これまでの実践や現在の役割に必要な知識や技術を高めるために、 新しい知見を得たり、積極的に外部と交流できる。
	F3 研究		●自己の看護実践の疑問や問題意識をもち、振り返ることができる。	●指導を受けながら、看護研究に参加することができる。	●部署における看護研究に取り組むことができ、組織で発表できる。	●自己の疑問から看護研究に取り組むことができ、組織内外で発表ができる。	●メンバーの看護研究をサポートし、自らも積極的に看護研究発表ができる。
組織	【目標】業務を管理する力		組織のメンバーとして日々の業務を遂行できる。	所属する部署の自己の役割を理解し、自ら考えて行動することが できる。	所属する部署・組織におけるリーダー的存在として、創造力を要求 される役割を遂行できる。	所属する部署・組織で看護の質にかかわる管理責任の一部を担い、 専門的な能力を必要とする指導的な役割を遂行することができる。	所属する部署・組織の看護の質にかかわる責任を担う者としての 役割を遂行することができる。
的役割遂	G1	役割認識	●組織の一員であることを理解し、自分の行動を決めることができる。	●所属する部署でその日の自己の役割を遂行できる。	●所属する部署の自己の役割を理解し、メンバーに影響を与えながら看護の質や効率を考えて行動することができる。	●所属する部署のみでなく、看護の組織全体における自己の役割を 理解し、創造的に行動することができる。	●組織における自己の役割を理解し、自ら考えて発展的に行動することができる。
行 能 力	G2	物品管理	●物品を安全に、正確に使用することができる。	●物品を安全に、正確に取り扱うことができ、故障や不具合があった際に対処できる。	●安全で正しい物品管理と補充に関して、メンバーへの指導ができる。	●部署内の物品を、安全性、効率性、適切性を考えて管理できる。	●経営的視点と、対象者へのよりよい看護の提供を考えた物品管理ができる。
	G3	情報管理	●守秘義務や個人情報保護に関する規則を理解し、守ることができる。	●守秘義務や個人情報保護を意識して、正しく情報を扱うことができる。	●守秘義務や個人情報保護のリスクを考え、事故防止にむけた行動ができる。	●守秘義務や個人情報保護に関する規則、情報管理に関し、メンバーを指導することができる。	●情報管理を理解し、そのリスクをふまえながら組織として安全かつ 効率的・効果的に情報を扱うことができる。
	G4	時間管理	●基本的な時間管理ができ、看護の優先順位を意識した行動が できる。	●看護の優先順位と効率を考えて、行動することができる。	●チームで協力して円滑に看護が進められるように支援することが できる。	●看護の質を維持しながら生産性と効率性を考え業務改善に取り 組むことができる。	●看護の質および部署の状況を判断し、柔軟に業務改善を推進する ことができる。
	G5 医療安全管理		 ●対象者の症状および治療による影響を考慮し、他者に相談しながら事故が起こらないよう意識して対応できる。 ●インシデント・アクシデントを確実に報告でき、自分なりに原因を分析できる。 	●リーダーとしてルールを優先するだけでなく、対象者の個別性にあった安全な環境調整ができる。 ●報告したインシデント・アクシデントの結果から、改善策を考え、 チームと共有できる。	 ●ヒューマンエラーの認識をもち、日常の看護のなかで注意深く対象者や環境を観察し、リスクが最小限になるように対応できる。 ●看護チームで起きたインシデント・アクシデントの再発防止策をカンファレンスで話し合い、メンバーと共有し実践することができる。 	 ●対象者の症状や行動の変化から看護職として注意すべきことを考え、チームで安全に配慮した対応にあたることができるようリーダーシップを発揮できる。 ●インシデント・アクシデントが起きる前から危険を予測し、改善案を提案してチームで行動できる。 	 ●チーム全体で安全な看護ができるようにチームのパランスを調整することができる。 ●日常のさまざまな場で事故を未然に防げるようスタッフへ教育的にかかわることができる。 ●リスクマネジメントの推進者として、組織全体の安全管理について考え、より安全で事故を起こさない仕組みづくりに貢献できる。
	G6 感染管理		●標準予防策を理解し実施できる。	●標準予防策を理解し、根拠ある行動をとることができる。	●感染管理の視点で対象者の環境を整えられるよう、スタッフに対して指導できる。		

【2024年度(令和6年度)研修会一覧

●研修会一覧の見方

オンデマンド研修に記載されている表記

【NEW】 新しく企画した研修や 2023年度に集合研修で実施した内容を オンデマンドとして作成したもの

【UP】 2023年度の内容をアップデートしたもの(詳細は「manaable (マナブル)」の備考でご確認ください)

【再】 2023年度と同じ内容を再配信したもの(2023年度の研修会名 「manaable (マナブル)」からお申し込みください は「manaable (マナブル)」の備考でご確認ください)

集合研修の会場

【東京】 東京研修会場(品川駅)

【兵庫】 一般財団法人仁明会精神衛生研究所 (JR・阪神 西宮駅)

●お申し込み方法

【申込開始】2024年3月1日(金)10:00~

継続学習にかかわる研修会

分類	NO.	研修会名	ねらい	項目	1	_	ダー III	- IV	٧	オンデマンド研修	024年4月~2025年3月) 多(時間数):配信期間 (定員):開催日	会員受講料 税込価格	非会員受講料 税込価格
歴史	1	【再】精神科医療の歴史	精神科医療の歴史と諸外国の精神医療改革を参考に、現在の精神 保健医療福祉に求められていることを考える	А	•	•				オンデマンド (90分)	5/15(水) ~ 2025/3/7(金)	1,650円	3,300円
法律	2	【UP】精神保健福祉法の 基礎知識	患者の人権を尊重し、安全で安心な精神科医療・看護が提供できるよう、 精神保健福祉法を正しく理解する。2022年の法改正についても学ぶ	А	•	•				オンデマンド (90分)	5/15(水) ~ 2025/3/7(金)	1,650円	3,300円
	3	【再】守秘義務と 個人情報保護法	医療専門職に守秘義務が設けられている理由、守秘しなければならない患者情報とは、守秘義務を厳守するためにはどのような場面に気をつけたらよいか、守秘義務を守らなかった場合の処分など、守秘義務と個人情報保護法について学び、安心で安全な医療・看護の提供につなげる	G	•	•	•	•	•	オンデマンド (60 分)	5/15(水) ~ 2025/3/7(金)	1,100円	2,200円
倫理	4	【再】精神科看護職の 倫理綱領 解説	精神科看護職の倫理綱領の理解を深める。「精神科看護職の倫理綱領とモヤモヤ MEMO」の使い方を理解し活用できる	С	•	•	•	•	•	オンデマンド (120分)	5/15(水) ~ 2025/3/7(金)	2,200円	4,400円
	5	[再] 精神科看護に必要な心構え と態度・倫理の基礎知識	倫理の基礎知識と精神科医療で起こりやすい倫理的課題を理解し、 日々の実践のなかで倫理的感受性を養い、個人を尊重した看護の実 践につなげる	А	•					オンデマンド (120分)	5/15(水) ~ 2025/3/7(金)	2,200円	4,400円
	6	【再】精神科における共同意思 決定と支援方法	精神障がい者との共同意思決定の過程とそこでの支援方法を学ぶ	Е			•	•	•	オンデマンド (180 分)	5/15(水) ~ 2025/3/7(金)	3,300円	6,600円
対人	7	【UP】精神科看護に必要な コミュニケーションスキルの知識	精神科看護におけるコミュニケーションスキルに関する知識を学び、 患者-看護職関係の構築につなげる	А	•	•				オンデマンド (90分)	5/15(水) ~ 2025/3/7(金)	1,650円	3,300円
関 係 •	8	【UP】プロセスレコードの基本 と実践での活用方法	プロセスレコードを用いて気がかりな場面で自らのコミュニケーション を振り返り、精神科看護への自己活用を考える。プロセスレコードの 基本、学生指導やスタッフ教育への活用を学ぶ	АВ	•	•		\vdash	•	オンデマンド (90分)	5/15(水) ~ 2025/3/7(金)	1,650円	3,300円
コミュニケー	9	気がかりを見つめ直しケアに つなげる異和感の対自化	日頃の看護のなかで気がかりになっていることからケアを見つめ直 す。対人関係における異和感から、援助関係のずれに気づくことが できる。異和感の対自化の実際、事例の4局面、援助技法の学習 方法としてのプロセスレコード、再構成法を学ぶ	АВ		•	\vdash	\vdash		東京 (80名)	11/10(日) (1日間)	6,600円	13,200円
ション	10	対人関係における自己活用	対人関係の基礎、看護におけるリフレクション、関係のプロセス、転移、 逆転移、直面化、抵抗、自己分析、自己理解、交流分析などを学び、 精神科看護において自己活用ができる	В		•	•	•	•	東京 (80名)	11/9(土) (1日間)	6,600円	13,200円
	11	自己表現が楽になる アサーション入門	アサーションの定義や方法を理解し、自分も相手も大切にする自己表現、アサーションスキルを習得する	A B D		•	•	•	•	東京 (80名)	12/7(土) (1日間)	6,600円	13,200円
	12	援助者が自身の感情をマネジメント する方法 (アンガーマネジメント)	怒りの仕組み、イライラや怒りの感情と上手に付き合うためのテクニックを学ぶ	A B		•	•	⊬	•	東京 (80名)	12/8(日) (1日間)	6,600円	13,200円
	13	トラウマ・インフォームドケア の基本と実践	トラウマ・インフォームドケアの基本的な考え方を学び、日々のケアに活かす	В		•	•	⊬	•	東京 (80名)	8/24(土) (1日間)	6,600円	13,200円
	14	【NEW】 ナラティブ・アプローチの基本	対象者の語りに耳を傾け、その語りから対象理解を深める方法を学ぶ	A B C			-	•	_	オンデマンド (90分)	5/15(水)~ 2025/3/7(金)	1,650円	3,300円
	15	対話で患者を支える オープンダイアローグ	フィンランドで実践されている統合失調症患者を対象とした治療的介入 方法であるオープンダイアローグの特徴、理論的背景、手法を学ぶ	В	\vdash		•	•		東京 (80名)	8/25(日) (1日間)	6,600円	13,200円
看護過	16	【再】対象理解とニーズの把握 につなげる観察と記録	対象理解やニーズの把握につなげるための観察の力を養うとともに、記録 の意味、記録の形式について学び、必要な記録を残すことができる	В	•	•	•	•	•	オンデマンド (120分)	5/15(水)~ 2025/3/7(金)	2,200円	4,400円
程・理論	17	【再】基礎から学ぶ看護過程	看護過程とは何か、看護過程が必要な理由、看護過程のプロセスな ど看護過程の基本を学ぶ。また、教育担当者として看護過程の基本 を振り返り、指導に活かすことができる	В	•	•	•	•	•	オンデマンド (90分)	5/15(水)~ 2025/3/7(金)	1,650円	3,300円

12

分類	NO.	研修会名	ねらい	項目	1	ラ5 	ブ ー Ⅲ	IV	V	オンデマンド研修	024年4月~2025年3月) 多(時間数):配信期間 (定員):開催日	会員受講料 税込価格	非会員受講料 税込価格
看護	18	【再】精神科における 看護過程の展開	精神疾患をもつ人を理解し、看護介入の必要性の判断と実施、評価の ポイントを学び看護過程の基本を理解する	В	•	•	•	•	•	オンデマンド (90分)	5/15(水)~ 2025/3/7(金)	1,650円	3,300円
過程・	19	【再】セルフケア理論とその活用	セルフケア理論の概要を理解し、セルフケア理論を用いた対象理解、 患者のセルフケアレベルに応じた看護を考える	В	•	•	•	•	•	オンデマンド (180分)	5/15(水)~ 2025/3/7(金)	3,300円	6,600円
理論	20	【NEW】メンタル・ステータス・ イグザミネーションの基礎知識	精神機能と精神症状を査定する方法を理解し、精神症状の生活への 影響をアセスメントしてケアにつなげる	ВС		•	•	•	•	オンデマンド (90分)	5/15(水)~ 2025/3/7(金)	1,650円	3,300円
	21	【UP】 ストレングスモデルを 活用した精神科の 看護過程	ストレングスモデルの概要を理解し、看護過程の展開においてストレングスモデルを活用することができる	B D	•	•	•	•	•	オンデマンド (90分)	5/15(水)~ 2025/3/7(金)	1,650円	3,300円
	22	【NEW】 医療者と患者が対等なパートナー としてかかわるコプロダクション型 精神看護過程	コプロダクションの基本を理解し、コプロダクション型精神看護過程 の実践につなげる	D E			•	•	•	オンデマンド (90分)	5/15(水) ~ 2025/3/7(金)	1,650円	3,300円
	23	【再】精神発達論を対象理解 に活かす	精神発達論の基礎知識を理解し、対象者の生育歴の情報を収集 する目的やアセスメントのポイントを学び、対象理解に活かす	В		•	•	•	•	オンデマンド (120 分)	5/15(水)~ 2025/3/7(金)	2,200円	4,400円
	24	精神力動論を対象理解に活かす	精神力動論の基礎知識を学び、対象者のこころの動きや行動の意味 について理解を深める	В			•	_	•	東京 (80名)	9/21(土) (1日間)	6,600円	13,200円
疾患の	25	【再】アセスメントやケアに つなげる精神機能の 分類と障害	精神機能を正しく理解し、的確な情報収集と記録、アセスメント、 ケアにつなげる	В		•				オンデマンド (90分)	5/15(水)~ 2025/3/7(金)	1,650円	3,300円
理解とケア	26	【再】GAFの評価のポイントと アセスメント	GAF尺度の概要と評価のポイントを理解し実践に活用する ※2020年度以前に精神科局間看護基本療養費の算定要件研修を受講されている 方で、地域の厚生局からGAFに関する研修会の受講を求められている方にもご活用 いただけます。	В	•	•	•	•	•	オンデマンド (90分)	5/15(水) ~ 2025/3/7(金)	1,650円	3,300円
	27	脳の構造・機能の理解とケア	脳の構造・機能をふまえて統合失調症や認知症の精神症状をアセス メントし、根拠に基づいたケアの提供につなげる	В	\vdash	\vdash					7/20(土) (1日間) 11/22(金) (1日間)	6,600円	13,200円
	28	【UP】統合失調症の理解とケア	統合失調症の病態、診断、治療の基礎を学び、病態理解に基づいた 看護ができる	В	•	\vdash				オンデマンド (120分)	5/15(水)~ 2025/3/7(金)	2,200円	4,400円
	29	【UP】気分障害の理解とケア	気分障害の病態、診断、治療の基礎を学び、病態理解に基づいた 看護ができる	В	•	\vdash				オンデマンド (120分)	5/15(水) ~ 2025/3/7(金)	2,200円	4,400円
	30	【再】発達障害の理解とケア	発達障害の病態、診断、治療の基礎を学び、病態理解に基づいた 看護ができる	В	\vdash	Н				オンデマンド (120 分)	5/15(水)~ 2025/3/7(金)	2,200円	4,400円
	31	【UP】 パーソナリティ障害の 理解とケア	パーソナリティ障害の病態、診断、治療の基礎を学び、病態理解 に基づいた看護ができる	ВС	•	Н				オンデマンド (120分)	5/15(水)~ 2025/3/7(金)	2,200円	4,400円
	32	【再】摂食障害の理解とケア	摂食障害の病態、診断、治療の基礎を学び、病態理解に基づいた 看護ができる	В	•					オンデマンド (120 分)	5/15(水)~ 2025/3/7(金)	2,200円	4,400円
	33	【再】アディクションの理解とケア	アディクションの病態、診断、治療の基礎を学び、病態理解に基づ いた看護ができる	\vdash	•	\vdash				オンデマンド (120分)	5/15(水)~ 2025/3/7(金)	2,200円	4,400円
	34	【再】認知症の理解とカンフォー タブルケア	認知症の病態、診断、治療、カンフォータブルケアを学び、原因疾患の 特徴に基づいた適切なケア提供につなげる	В	•	Н				オンデマンド (120 分)	5/15(水)~ 2025/3/7(金)	2,200円	4,400円
	35	【UP】多飲水・水中毒の理解 とケア	多飲水、水中毒の病態、診断、治療の基礎を学び、病態理解に基づいた 看護ができる	\vdash	•	\vdash				オンデマンド (120分)	5/15(水)~ 2025/3/7(金)	2,200円	4,400円
	36	児童・思春期・青年期の 精神科看護	児童・思春期・青年期の特徴を学び、問題となる行動や障害について理解し、具体的なケアを考える	ВС	•	Н				兵庫 (50名)	8/31(土) (1日間)	6,600円	13,200円
	37	【UP】精神科看護に活かす 糖尿病の理解とケア	糖尿病の病態生理を理解し、精神疾患と糖尿病を併せもつ対象者の ケアにつなげる	С	•	•	•	•	•	オンデマンド (120 分)	5/15(水)~ 2025/3/7(金)	2,200円	4,400円
精神	38	【UP】向精神薬の基礎知識	向精神薬の基礎知識を学び、薬物療法を受ける患者の支援ができる	B C	-	•		-	•	オンデマンド (90分)	5/15(水)~ 2025/3/7(金)	1,650円	3,300円
科治療	39	精神科薬物療法の有効性と 限界を学ぶ	精神科薬物療法の基本、精神科薬物療法の有効性と限界を理解し、 看護実践につなげる	С	•	•	•	•	•	兵庫 (50名)	9/13(金) (1日間)	6,600円	13,200円
・専門	40	【再】精神科薬物療法を受ける 患者の看護	患者の生活に合わせた薬物療法の支援を行うためのケアの視点やケアの工夫を学ぶ	В			•	•	•	オンデマンド (90分)	5/15(水)~ 2025/3/7(金)	1,650円	3,300円
療法	41	【再】精神療法の基本	精神療法の基本を理解し、チーム医療、看護ケアにつなげる	С	•	•	•	•	•	オンデマンド (90分)	5/15(水)~ 2025/3/7(金)	1,650円	3,300円
	42	【再】作業療法の基本	作業療法の基本を理解し、チーム医療、看護ケアにつなげる	С	•	•	•	•	•	オンデマンド (90分)	5/15(水) ~ 2025/3/7(金)	1,650円	3,300円
	43	【再】精神科医療・看護に おけるグループアプローチ	精神科医療・看護の場面で行われているグループアプローチの基本 を学び、グループアプローチを行うことの意味と看護職としての視点 を理解し、ケアにつなげる	С	•	•	•	•	•	オンデマンド (90分)	5/15(水)~ 2025/3/7(金)	1,650円	3,300円

分類	NO.	研修会名	ねらい	項目	_	ラ Ś	_	_	V	オンデマンド研付	024年4月~2025年3月) 多(時間数):配信期間 (定員):開催日	会員受講料税込価格	非会員受講料税込価格
精神科	44	【再】ケアにつなげる心理 教育の基本と活用	精神科医療・看護の場面で行われている心理教育(疾病教育・服薬心理教育)を知り、心理教育を行うことの意味と看護職としての視点を理解し、ケアにつなげる	С			•	•	•	オンデマンド (90分)	5/15(水) ~ 2025/3/7(金)	1,650円	3,300円
科治療・	45	【再】アルコール依存症リハビリ テーションプログラム(ARP)	ARPの目的と実践、看護職の役割を理解し、看護ケアにつなげる	С		•	•	•	•	オンデマンド (90分)	5/15(水)~ 2025/3/7(金)	1,650円	3,300円
専門	46	社会生活スキルトレーニング(SST) の基本的知識と看護への活用	SSTの基本的な考え方と実践を学び、対象者の生活支援につなげる	С		•	•	•	•	東京 (80名)	10/17(木) (1日間)	6,600円	13,200円
療法	47	認知行動療法 (CBT) の実際~ 認知行動療法を日常臨床でどの ように活かすか~	短時間で行う「効率型認知行動療法」の考え方を学び、日常臨床 に活かすことができる	С		•	•	•	•	東京 (80名)	9/6(金)(1日間)	6,600円	13,200円
急性期看護	48	【再】 看護に活かすストレス マネジメント	ストレスの定義、ストレスのメカニズム、ストレスによる心身への影響、 ストレスマネジメントの方法を学ぶ	С	•	•	•	•	•	オンデマンド (90分)	5/15(水)~ 2025/3/7(金)	1,650円	3,300円
身体	49	フィジカルアセスメント・フィジ カルイグザミネーションの基本	フィジカルアセスメント、フィジカルイグザミネーションの基本を学び、 身体症状の観察とケアの実践につなげる	ВС	-	Н	•	•		東京 (80名)	10/4(金) (1日間)	6,600円	13,200円
ケア・	50	【再】精神科における身体 合併症看護	身体と精神のつながり、精神科で起こりやすい身体合併症を理解し、 精神疾患と身体疾患をあわせもつ対象者の看護実践につなげる	В			•	•		オンデマンド (90分)	5/15(水)~ 2025/3/7(金)	1,650円	3,300円
日常生	51	摂食・嚥下にかかわるケア	摂食・嚥下のメカニズムを理解し、摂食・嚥下障害のある患者の ケアを学ぶ	ВС	-	•	_	-		東京 (80名)	10/6(日) (1日間)	6,600円	13,200円
常生活支援	52	排泄ケアとスキントラブルの 予防	排便コントロールや排尿ケアなど、排泄の基本を学ぶ。 褥瘡・スキンテア (皮膚裂傷) の予防とケア、失禁によるスキントラブルの予防とケア、フットケアの方法や爪切りについて実践を通して学ぶ	H	•		•	•		東京 (80名)	10/5(土) (1日間)	6,600円	13,200円
救急・	53	【再】急変時の情報伝達に 役立つSBAR	SBAR(状況・背景・評価・提案)の概要、身体面の急変時における、 医師、リーダーへの的確な報告、医療安全などSBARが活用できる 場面を学ぶ	В	\dashv	Н		•	•	オンデマンド (90分)	5/15(水)~ 2025/3/7(金)	1,650円	3,300円
急性期看護	54	包括的暴力防止プログラム (CVPPP) トレーナー 養成研修会	当事者の権利擁護を図り、相互尊重の理念のもと、その場の安心を 守るというCVPPPの理念と理論を学ぶ。この理論をもとに具体的な 臨床状況に応用可能な方法論を学ぶ ※日本こころの安全とケア学会CVPPPトレーナーとして認定する	С			•	•	•	東京 集合+ライブ配信 (40名)	9/14(土)〜 9/16(月) : 集合 10/1(火) : ライブ配信 (4日間)	44,000円	88,000円
	55	【再】精神科におけるクライシス・ インターベンション〜危機の 理解と介入の基本〜	危機を理解し、対象者の状況に合わせた危機介入につなげる	С			•	•	•	オンデマンド (90分)	5/15(水) ~ 2025/3/7(金)	1,650円	3,300円
行動制限	56	【UP】 行動制限最小化看護の 基礎知識と看護の実際	行動制限に関する法律を正しく理解し、行動制限最小化に向けた観察の視点とアセスメント、ケアのポイントを学ぶ	С	•	•	•			オンデマンド (90分)	5/15(水)~ 2025/3/7(金)	1,650円	3,300円
限最小化	57	身体的拘束に伴う法的根拠/身 体的拘束に頼らない精神科看護	身体的拘束に伴う法的根拠を再確認し、現場での矛盾や倫理的課 題を明らかにし、身体的拘束に頼らないケアを考える	С		•	•	•	•		8/1(木)(1日間) 9/28(土)(1日間)	6,600円	13,200円
地	58	【再】地域生活を支える社会 資源の活用と連携	精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの概念を理解し、退院 支援に必要なアセスメント、地域生活を支える社会資源、看看連携、 多職種、他機関との連携を学ぶ	D		•	•	•	•	オンデマンド (90分)	5/15(水)~ 2025/3/7(金)	1,650円	3,300円
域包括ケアシステム	59	【NEW】 リカバリーの基礎知識と実践	リカバリーの概念と考え方を学び、精神障がい者の回復過程への支援につなげる	ВС	\vdash	•	H	•	•	オンデマンド (90分)	5/15(水)~ 2025/3/7(金)	1,650円	3,300円
家族支援	60	【UP】家族看護の基礎知識 〜精神科看護領域での 家族看護〜	家族システム理論や家族発達理論の基本を学び、家族の理解を深め、精神 疾患をもつ患者の家族支援について考える	С		•	•	•	•	オンデマンド (90分)	5/15(水)~ 2025/3/7(金)	1,650円	3,300円
事例	61	【再】事例のまとめ方	看護サマリー、事例検討、事例研究など、事例をまとめることの意義を理解 し、事例をまとめることによって得られる「気づき」から看護実践力を高める	F		•	•	•	•	オンデマンド (90分)	5/15(水) ~ 2025/3/7(金)	1,650円	3,300円
検討	62	気づきを活かす事例検討会 6回シリーズ	事例検討を行うための基本的な知識を習得し、事例検討を通して現場の経験を分かち合うとともに、看護の感性を磨く。参加を通して他の施設の看護職とともに学び、自身の変化を実感しながら日々の看護につなげる ※事例検討の経験の有無は問いません ※部分受講不可、研修時間は毎回2時間 (PM) です	A B C D			•	•	•	ハイブリッド ライブ配信 (20名) + 東京 (20名)	8/31(土) 9/29(日) 10/20(日) 11/24(日) 12/22(日) 2025年1/26(日) (6日間)	6,600円	13,200円
	63	事例検討会ファシリテーター 養成研修会	集団精神療法を基本にしたグループ体験と、事例検討会の深化を体験し、事例検討会の運営をおこなうためのファシリテーターを育成する。また、オープンダイアローグで用いられるリフレクティングプロセスを用いた事例検討会を通して、日々のケアで疑問に感じていることを言語化し、今後のケアに活かす※事例検討会の参加経験が5回以上あることが望ましい	F			•	•	•	東京 (80名)	2025年2/23(日) (1日間)	6,600円	13,200円
チーム	64	【UP】 自身の役割を果たす ためのメンバーシップと リーダーシップ	組織に属することの意味を理解し、組織やチームにおけるメンバーシップと リーダーシップについて学び、組織における自身の役割を考えることができる	G	•	•	•			オンデマンド (120分)	5/15(水)~ 2025/3/7(金)	2,200円	4,400円
ム医療	65	【再】チーム医療の推進	医療チームにおける専門職がそれぞれの力を発揮できるように他職種の専門性を 理解し、看護の役割を考え、質の高いチーム医療の実践につなげることができる	D		•	•	•	•	オンデマンド (90分)	5/15(水)~ 2025/3/7(金)	1,650円	3,300円
	66	有効な看護チームをつくる ためのファシリテーション	ファシリテーションに必要となるブロッキングやリフレクティング、ファシリ テーションの留意点を理解し、看護チームの有効性を高める	G			•	•	•	兵庫 (50名)	9/21(土) (1日間)	6,600円	13,200円

						ラタ	5 —			開催方法・日程 (2	2024年4月~2025年3月)	A 57 57 58 51	
分類	NO.	研修会名	ねらい	項目	1			_	٧		修(時間数):配信期間 :(定員):開催日	会員受講料 税込価格	非会員受講料 税込価格
教育・研究	67	【再】基礎から学ぶ看護研究	看護研究の意義を理解し、研究における倫理や研究方法など、基本的な知識を学ぶ	F	•	•	•	•	•	オンデマンド (180 分)	5/15(水)~ 2025/3/7(金)	3,300円	6,600円
究	68	現場のニーズを活かす 院内研修の立案	スタッフや所属部署の学習ニーズをとらえ、所属施設における教育を考える	F				•	•	東京 (80名)	10/12(土) (1日間)	6,600円	13,200円
医療安全	69	【UP】 医療安全の基本と実践	医療安全に関わる法律や基礎知識を学ぶ。また、精神科医療・看護実践の場での事故の特徴を理解し、安全な医療・看護の提供につなげる	G	•	•	•	•	•	オンデマンド (90分)	5/15(水)~ 2025/3/7(金)	1,650円	3,300円
感染管理	70	【UP】感染予防策の基礎と実践	標準予防策、感染経路別予防策、手指衛生、個人防護具、衛生 管理など感染対策の基礎について学ぶ。精神科医療や看護実践にお ける感染対策の特徴を知る	G	•	•	•	•	•	オンデマンド (90分)	5/15(水) ~ 2025/3/7(金)	1,650円	3,300円
訪問看護	71	【NEW】 精神科訪問看護に必要な視点	精神科訪問看護の初心者に必要な精神科訪問看護の視点と、医 学モデル・生活モデル双方の視点を活用した看護について理解する	H	•					オンデマンド (60分)	5/15(水) ~ 2025/3/7(金)	1,100円	2,200円
硬	72	【NEW】 精神科訪問看護にかかわる 医療制度と福祉制度	医療制度と福祉制度の活用方法を理解し、利用者の生活の幅を広げ ることができる	C D	•	•				オンデマンド (60分)	5/15(水) ~ 2025/3/7(金)	1,100円	2,200円
	73	【NEW】 精神科訪問看護における連携 の必要性	看看連携、関係機関、行政、地域の事業所などとの連携の必要性 を理解し、利用者が主体となる精神科訪問看護が実施できる	D	•	•	•	•	•	オンデマンド (60分)	5/15(水)~ 2025/3/7(金)	1,100円	2,200円
	74	【NEW】 精神科訪問看護の実際	精神科訪問看護の対象となる事例を通して精神科訪問看護の実際 を学ぶ	В	•	•	•	•	•	オンデマンド (60分)	5/15(水)~ 2025/3/7(金)	1,100円	2,200円
			でナツ	С	•	•	•	•	•	(337)			

┃看護管理にかかわる研修会 ━

NO.	研修会名	ねらい	オンデマンド研修	4年4月~2025年3月) (時間数):配信期間 定員):開催日	会員受講料 税込価格	非会員受講料税込価格
75	【再】中堅ナースに必要な 診療報酬の基礎知識	診療報酬の仕組みについて理解し、政策提言の方法や経営的戦略を担保するための中堅ナースとしての役割を学ぶ	オンデマンド (180 分)	5/15(水)~ 2025/3/7(金)	3,300円	6,600円
76	【再】 看護に役立つ ビジネスコミュニケーション	自分の考えや伝えたいことを論理的に表現する力を身につけ、日々の業務連 絡や多職種連携に活かす	オンデマンド (90 分)	5/15(水) ~ 2025/3/7(金)	1,650円	3,300円
77	組織の看護実践力向上につなげる 事例検討会〜運営と定着〜	事例検討会の意義と目的を学び直し、スタッフの観察、実践、分析力を高め る新たな看護体験として臨床現場に事例検討を導入する方法を考える	東京 (80名)	12/21(土) (1日間)	6,600円	13,200円
78	【再】病院組織で取り組む 行動制限最小化	行動制限最小化看護の実践に向けた看護管理者の役割を考え、行動制限最 小化委員会やSix Core Strategiesなど組織全体で取り組むことを学ぶ	オンデマンド (90 分)	5/15(水)~ 2025/3/7(金)	1,650円	3,300円
79	【再】人材の育成と活用	すぐれた人材を育成するために必要な教育、コミュニケーション、人材活用 の方法を学び、質の高い医療、看護サービスの提供につなげる	オンデマンド (180 分)	5/15(水)~ 2025/3/7(金)	3,300円	6,600円
80	【NEW】コーチングの基礎と 活用方法	スタッフの自律をサポートする方法として、コーチングの基本的な考え方を理解する。スタッフ自らの力を発揮し、目標に向かって自発的に行動できるよう、対話による気づきや学習、行動を促進する	オンデマンド (90 分)	5/15(水)~ 2025/3/7(金)	1,650円	3,300円
81	【再】組織改革に必要な 看護管理者の役割と能力	地域に開かれた病院のトップマネジャーとして、精神保健医療福祉の動向や 地域のニーズを把握して組織変革に取り組み、病院・看護部運営に必要な マネジメント、および、病院経営に参画できる知識を習得する	オンデマンド (180 分)	5/15(水)~ 2025/3/7(金)	3,300円	6,600円
82	【再】病棟管理に役立つ 組織分析の理論と評価	組織変革に必要な基礎知識と手法を学び、所属施設の強みと弱みの分析、 客観的な評価をとおして、今後の組織展望を考える	オンデマンド (180 分)	5/15(水)~ 2025/3/7(金)	3,300円	6,600円
83	精神科看護を元気にする 看護管理者の視点	精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築、看護倫理や行動制限 最小化など、精神科看護のトピックスについて理解を深め、参加者との情報 交換や意見交換をとおして看護管理者の活力やモチベーション向上をめざす	東京 (80名)	7/27(土) ~ 7/28(日)(2日間)	13,200円	26,400円

診療報酬の算定にかかわる研修会

NO.	研修会名	主な内容	オンデマン	程(2024年4月~2025年3月) ルド研修(時間数):配信期間 合研修(定員):開催日	会員受講料 税込価格	非会員受講料 稅込価格
84	看護補助者活用研修会	看護職員と看護補助者の業務分担・看護職員と看護 補助者の協働のための体制整備・看護補助者への研修 プログラム	ライブ	8/29(木) (1日間)	6.600円	13.200円
		※診療報酬施設基準に則る「看護補助者加算」「看護補助体制充実加算」算定に規定されている、看護師長が受講することが望ましい所定の研修として要件を満たす研修会	ライブ	2025/2/22(土) (1日間)	0,00013	10,20013
85	認知症の理解とケア	●認知症原因疾患別の病態、治療、ケア ●認知症と類似した疾患の鑑別と対応 ●認知症患者へのケアの原則 ●身体的拘束を避けるためのケア	ライブ	6/7(金)~6/8(土) (2日間)	14,300円	28,600円
		※テキスト「認知症ケアマニュアル」つき ※診療報酬施設基準に則る「認知症ケア加算2・3」算定の 届出要件を満たす研修会 ※部分受講不可	ライブ	11/1(金)~11/2(土) (2日間)	.,,555,7	10,00013
86	精神科訪問看護研修会 ~基礎編~	精神科訪問看護の動向・精神疾患の理解・薬物療法の基礎知識・精神科訪問看護の実際・社会資源の活用・GAF ※診療報酬施設基準に則る「精神科訪問看護基本療養費」 算定の届出要件を満たす研修会 ※部分受講不可	オンデマンド (約 21時間)	5/15(水) ~ 2025/3/7(金)	8,250円	16,500円
87	重度アルコール依存症看護	薬物・アルコール依存症の病態生理と精神病理など ※診療報酬施設基準に則る「依存症入院医療管理加算」 算定の届出要件を満たす研修会 (対象疾患はアルコール依存症に限る) ※部分受講不可	東京 (40名)	11/30(土)~ 12/4(水)(5日間)	33,000円	66,000円
88	医療安全管理者養成研修会	医療安全の基本的知識・安全管理体制の構築・情報収集と分析・対策立案から評価・事故発生時の対応など ※診療報酬施設基準に則る「医療安全対策加算1・2」算定 要件を満たす研修会 ※部分受講不可	東京 (80名)	2025/1/18(土) ~ 21(火) 2025/1/29(水) ~ 31(金) (7日間)	46,200円	92,400円

精神科看護初心者向け オンデマンドのセット研修

このセット研修はNO.1 ~ NO.74 の研修会 (P12-15) から精神科看護初心者向けのオンデマンド研修を組み合わせたものです。 ご自身のペースで基礎知識を学ぶことができますので、ぜひご活用ください。

<申込方法> セット研修会名を検索してお申し込みください。

- <注意事項> ●セット①~⑩のNO.は、P12-15 に掲載している研修会に対応しています。
 - ●セット研修には、同じオンデマンド研修が含まれているものもありますので、NO.をご確認ください。
 - ●ねらいや配信期間をご確認ください。
 - ●受講料は研修会の合計金額です。

セット研修名	NO	セットに含まれる研修会	時間数	会員受講料 税込価格	非会員受講料 税込価格
	NO.	研修会名		忧心 幽愴	枕处逥恰
セット①【はじめての精神科看護】					
	2	精神保健福祉法の基礎知識	1.5		
精神科看護がはじめての方に学んでほしい	5	精神科看護職に必要な心構えと態度・倫理の基礎知識	2		
おすすめのセット研修	16	対象理解とニーズの把握につなげる観察と記録	2	9,350円	18,700円
	48	看護に活かすストレスマネジメント	1.5		
	56	行動制限最小化看護の基礎知識と看護の実際	1.5		
セット②【倫理・法律・歴史】					
倫理や歴史、法律を学び、	1	精神科医療の歴史	1.5		
無理や歴史、広律を子び、 ケアや意思決定を支援する力をつけよう	2	精神保健福祉法の基礎知識	1.5	7700 M	15 400 TI
(ラダー項目:A、C、E)	4	精神科看護職の倫理綱領 解説	2	7,700円	15,400円
(7) 91 1/1 0(2)	5	精神科看護に必要な心構えと態度・倫理の基礎知識	2		
セット③【情報収集・記録・アセスメン	ト・計	·画立案】			
	16	対象理解とニーズの把握につなげる観察と記録	2		
情報収集・記録・アセスメント・計画立案を	17	基礎から学ぶ看護過程	1.5		
学び、ニーズを把握する力をつけよう	18	精神科における看護過程の展開	1.5	10,450円	20,900円
(ラダー項目: B、D)	19	セルフケア理論とその活用	3	.,	.,
	21	ストレングスモデルを活用した精神科の看護過程	1.5		
セット④【行動制限・急変時・ストレス	マネジ	メント・危機介入】			
	48	看護に活かすストレスマネジメント	1.5		
行動制限や急変時など危機的な状況に、	53	急変時の情報伝達に役立つSBAR	1.5		
安全かつ確実なケアを実施できる力をつけよう	55	精神科におけるクライシス・インターベンション~危機の理解と介入の基本~	1.5	6,600円	13,200円
(ラダー項目:B、C)	56	行動制限最小化看護の基礎知識と看護の実際	1.5		
		日動的は取り、10個級の全に和助し個級の大部	0		
セット⑤【意思決定・コミュニケーション	4				
コミュニケーションについて学び、患者のニーズ	6	精神科における共同意思決定と支援方法	3		
を把握したり、意思決定を支援する力をつけよう	7	精神科看護に必要なコミュニケーションスキルの知識	1.5	6,600円	13,200円
(ラダー項目:A、B、E)	8	プロセスレコードの基本と実践での活用方法	1.5		
セット⑥【疾患の理解とケア 基礎編】					
	28	統合失調症の理解とケア	2		
疾患の特性や治療を理解し、ケアする力を	29	気分障害の理解とケア	2		
つけよう~よく出会う疾患を中心に~	30	発達障害の理解とケア	2	11,000円	22,000円
(ラダー項目: B、C)	34	認知症疾患の理解とカンフォータブルケア	2		
	35	多飲水・水中毒の理解とケア	2		
セット (
	31	パーソナリティ隨害の理解とケア	2		
疾患の特性や治療を理解し、ケアする力を	31 32	パーソナリティ障害の理解とケア 摂食障害の理解とケア	2 2		
疾患の特性や治療を理解し、ケアする力を つけよう~専門性の高い疾患を中心に~	-			9,900円	19,800円
	32	摂食障害の理解とケア	2	9,900円	19,800円
つけよう~専門性の高い疾患を中心に~	32 33	摂食障害の理解とケア アディクションの理解とケア	2 2	9,900円	19,800円
つけよう~専門性の高い疾患を中心に~	32 33 43	摂食障害の理解とケア アディクションの理解とケア 精神科医療・看護におけるグループアプローチ	2 2 1.5	9,900円	19,800円
つけよう~専門性の高い疾患を中心に~ (ラダー項目:B、C)	32 33 43 45	摂食障害の理解とケア アディクションの理解とケア 精神科医療・看護におけるグループアプローチ アルコール依存症リハビリテーションプログラム(ARP)	2 2 1.5 1.5	9,900円	19,800円
つけよう〜専門性の高い疾患を中心に〜 (ラダー項目:B、C)	32 33 43 45	摂食障害の理解とケア アディクションの理解とケア 精神科医療・看護におけるグループアプローチ アルコール依存症リハビリテーションプログラム(ARP) 向精神薬の基礎知識	2 2 1.5 1.5	9,900円	19,800円
つけよう~専門性の高い疾患を中心に~ (ラダー項目: B、C) セット®【チーム医療・他職種の技法】 他職種の専門性を理解し、チームでケアする 力をつけよう	32 33 43 45 38 40	摂食障害の理解とケア アディクションの理解とケア 精神科医療・看護におけるグループアプローチ アルコール依存症リハビリテーションプログラム(ARP) 向精神薬の基礎知識 精神科薬物療法を受ける患者の看護	2 2 1.5 1.5 1.5	9,900円	19,800円
つけよう〜専門性の高い疾患を中心に〜 (ラダー項目: B、C) セット®【チーム医療・他職種の技法】 他職種の専門性を理解し、チームでケアする	32 33 43 45 38 40 41	摂食障害の理解とケア アディクションの理解とケア 精神科医療・看護におけるグループアプローチ アルコール依存症リハビリテーションプログラム(ARP) 向精神薬の基礎知識 精神科薬物療法を受ける患者の看護 精神療法の基本	2 2 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5		,
つけよう~専門性の高い疾患を中心に~ (ラダー項目: B、C) セット®【チーム医療・他職種の技法】 他職種の専門性を理解し、チームでケアする カをつけよう (ラダー項目: B、C)	32 33 43 45 38 40 41 42	摂食障害の理解とケア アディクションの理解とケア 精神科医療・看護におけるグループアプローチ アルコール依存症リハビリテーションプログラム(ARP) 向精神薬の基礎知識 精神科薬物療法を受ける患者の看護 精神療法の基本 作業療法の基本	2 2 1.5 1.5 1.5		,
つけよう~専門性の高い疾患を中心に~ (ラダー項目: B、C) セット®【チーム医療・他職種の技法】 他職種の専門性を理解し、チームでケアする 力をつけよう	32 33 43 45 38 40 41 42	摂食障害の理解とケア アディクションの理解とケア 精神科医療・看護におけるグループアプローチ アルコール依存症リハビリテーションプログラム(ARP) 向精神薬の基礎知識 精神科薬物療法を受ける患者の看護 精神療法の基本 作業療法の基本 ン・リカバリー	2 2 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5		,
つけよう~専門性の高い疾患を中心に~ (ラダー項目: B、C) セット®【チーム医療・他職種の技法】 他職種の専門性を理解し、チームでケアする カをつけよう (ラダー項目: B、C) セット®【家族・地域生活・リハビリテ	32 33 43 45 38 40 41 42 ーショ	摂食障害の理解とケア アディクションの理解とケア 精神科医療・看護におけるグループアプローチ アルコール依存症リハビリテーションプログラム(ARP) 向精神薬の基礎知識 精神科薬物療法を受ける患者の看護 精神療法の基本 作業療法の基本 ン・リカバリー ケアにつなげる心理教育の基本と活用	2 2 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5		,
つけよう~専門性の高い疾患を中心に~ (ラダー項目: B、C) セット®【チーム医療・他職種の技法】 他職種の専門性を理解し、チームでケアする カをつけよう (ラダー項目: B、C) セット⑨【家族・地域生活・リハビリテ地域や家族へ視点を広げ、ケアする力をつけよう	32 33 43 45 38 40 41 42 ->= 44 58	摂食障害の理解とケア アディクションの理解とケア 精神科医療・看護におけるグループアプローチ アルコール依存症リハビリテーションプログラム(ARP) 向精神薬の基礎知識 精神科薬物療法を受ける患者の看護 精神療法の基本 作業療法の基本 ン・リカバリー ケアにつなげる心理教育の基本と活用 地域生活を支える社会資源の活用と連携	2 2 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5		,
つけよう~専門性の高い疾患を中心に~ (ラダー項目: B、C) セット®【チーム医療・他職種の技法】 他職種の専門性を理解し、チームでケアする カをつけよう (ラダー項目: B、C) セット®【家族・地域生活・リハビリテ	32 33 43 45 38 40 41 42 ->= 44 58 59	摂食障害の理解とケア アディクションの理解とケア 精神科医療・看護におけるグループアプローチ アルコール依存症リハビリテーションプログラム(ARP) 向精神薬の基礎知識 精神科薬物療法を受ける患者の看護 精神療法の基本 作業療法の基本 ン・リカバリー] ケアにつなげる心理教育の基本と活用 地域生活を支える社会資源の活用と連携 リカバリーの基礎知識と実践	2 2 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5	6,600円	13,200円
つけよう~専門性の高い疾患を中心に~ (ラダー項目: B、C) セット⑧ 【チーム医療・他職種の技法】 他職種の専門性を理解し、チームでケアする 力をつけよう (ラダー項目: B、C) セット⑨ 【家族・地域生活・リハビリテ地域や家族へ視点を広げ、ケアする力をつけよう (ラダー項目: B、C、D)	32 33 43 45 38 40 41 42 ->= 44 58 59 60	摂食障害の理解とケア アディクションの理解とケア 精神科医療・看護におけるグループアプローチ アルコール依存症リハビリテーションプログラム(ARP) 向精神薬の基礎知識 精神科薬物療法を受ける患者の看護 精神療法の基本 作業療法の基本 ン・リカバリー ケアにつなげる心理教育の基本と活用 地域生活を支える社会資源の活用と連携 リカバリーの基礎知識と実践 家族看護の基礎知識と精神科看護領域での家族看護~	2 2 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5	6,600円	13,200円
つけよう~専門性の高い疾患を中心に~ (ラダー項目: B、C) セット⑧ 【チーム医療・他職種の技法】 他職種の専門性を理解し、チームでケアする カをつけよう (ラダー項目: B、C) セット⑨ 【家族・地域生活・リハビリテ地域や家族へ視点を広げ、ケアする力をつけよう	32 33 43 45 38 40 41 42 ->= 44 58 59 60	摂食障害の理解とケア アディクションの理解とケア 精神科医療・看護におけるグループアプローチ アルコール依存症リハビリテーションプログラム(ARP) 向精神薬の基礎知識 精神科薬物療法を受ける患者の看護 精神療法の基本 作業療法の基本 ン・リカバリー ケアにつなげる心理教育の基本と活用 地域生活を支える社会資源の活用と連携 リカバリーの基礎知識と実践 家族看護の基礎知識と精神科看護領域での家族看護~	2 2 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5	6,600円	13,200円
つけよう~専門性の高い疾患を中心に~(ラダー項目:B、C) セット®【チーム医療・他職種の技法】 他職種の専門性を理解し、チームでケアする 力をつけよう (ラダー項目:B、C) セット⑨【家族・地域生活・リハビリテ 地域や家族へ視点を広げ、ケアする力をつけよう (ラダー項目:B、C、D)	32 33 43 45 38 40 41 42 ->= 44 58 59 60	摂食障害の理解とケア アディクションの理解とケア 精神科医療・看護におけるグループアプローチ アルコール依存症リハビリテーションプログラム(ARP) 向精神薬の基礎知識 精神科薬物療法を受ける患者の看護 精神療法の基本 作業療法の基本 ン・リカバリー ケアにつなげる心理教育の基本と活用 地域生活を支える社会資源の活用と連携 リカバリーの基礎知識と実践 家族看護の基礎知識と精神科看護領域での家族看護~	2 2 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5	6,600円	13,200円
つけよう~専門性の高い疾患を中心に~(ラダー項目: B、C) セット®【チーム医療・他職種の技法】 他職種の専門性を理解し、チームでケアする 力をつけよう (ラダー項目: B、C) セット⑨【家族・地域生活・リハビリテ 地域や家族へ視点を広げ、ケアする力をつけよう (ラダー項目: B、C、D) セット⑩【役割・個人情報・医療安全 組織のメンバーとして、日々の業務を遂行でき	32 33 43 45 38 40 41 42 -ショ 44 58 59 60	摂食障害の理解とケア アディクションの理解とケア 精神科医療・看護におけるグループアプローチ アルコール依存症リハビリテーションプログラム(ARP) 向精神薬の基礎知識 精神科薬物療法を受ける患者の看護 精神療法の基本 作業療法の基本 ・リカバリー ケアにつなげる心理教育の基本と活用 地域生活を支える社会資源の活用と連携 リカバリーの基礎知識と実践 家族看護の基礎知識~精神科看護領域での家族看護~ 予防	2 2 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5	6,600円	13,200円
つけよう~専門性の高い疾患を中心に~ (ラダー項目: B、C) セット®【チーム医療・他職種の技法】 他職種の専門性を理解し、チームでケアする カをつけよう (ラダー項目: B、C) セット®【家族・地域生活・リハビリテ 地域や家族へ視点を広げ、ケアする力をつけよう (ラダー項目: B、C、D)	32 33 43 45 38 40 41 42 -ショ 44 58 59 60 ・感染	接食障害の理解とケア アディクションの理解とケア アディクションの理解とケア 精神科医療・看護におけるグループアプローチ アルコール依存症リハビリテーションプログラム(ARP) 向精神薬の基礎知識 精神科薬物療法を受ける患者の看護 精神療法の基本 作業療法の基本 ン・リカバリー ケアにつなげる心理教育の基本と活用 地域生活を支える社会資源の活用と連携 リカバリーの基礎知識と実践 家族看護の基礎知識~精神科看護領域での家族看護~ 予防] 守秘義務と個人情報保護法	2 2 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5	6,600円	13,200円

看護実習指導者講習会

2024年度(令和6年度)看護実習指導者講習会について

2021年度(令和3年度)より看護実習指導者講習会のカリキュラムが見直され、総時間が240時間から180時間となりました。また、日精看 では看護実習指導者講習会でも一部オンライン研修会を取り入れて行っています。これまでより受講しやすくなった看護実習指導者講習会をぜひ ご活用ください。2024年度(令和6年度)は、看護実習指導者講習会の開講は8月頃の予定です。詳しい内容は、4月以降にお知らせします。

日本精神科看護学術集会

第49回 日本精神科看護学術集会 in 熊本

主 題:大きく変化する社会に対応する精神科看護の人的資源開発

会 期:2024/6/28(金)~6/29(土)

会場: 熊本城ホール(桜町バスターミナルより徒歩1分)

参加費: 【事前参加申込】会員=13,200円/非会員=26,400円(稅込) 【当日申込】会員=15,400円/非会員=30,800円(税込)

第49回日本精神科看護学術集会は、熊本県熊本市で開催します。 また、学術集会の開催地である熊本県では、2016年の熊本地震 今回の学術集会では、精神科を取り巻く社会の変化や法改正は、 精神科看護職に何を求めているのか、それらに応じられるよう、個 人や組織をどう育成し開発するのか、社会連携を強化するにはどの ようしたらよいのかなどを総合的に検討します。

で被害をうけた熊本のシンボル熊本城の復旧工事が進んでいます。 場内には「特別見学通路」が設置され、天守閣や復旧中の飯田丸五 階櫓などを観覧することができます。学術集会に参加して、復興を 応援しましょうし

日程	午前		午後				
6/28(金)	基調講演	式典	精神科看護 CONGRESS 支部企画 支部推薦論文発表	一般演題 A・B 発表 共催セミナー 教育セミナー			
6/29(土)	精神科看護 CONGRESS 一般演題 A・ 支部推薦論文発表 教育セミナー	B発表 ・企画セミナー	シンポジウム 支部推薦論文発表	一般演題A・B発表 共催セミナー			

※プログラムの内容や時間などは予告なく変更することがあります

第31回 日本精神科看護専門学術集会 in 山口

会 期:2024/10/26(土)~10/27(日)

会 場:海峡メッセ下関(JR下関駅より徒歩7分)

参加費:【事前参加申込】会員=13,200円/非会員=26,400円(稅込) 【当日申込】会員=15,400円/非会員=30,800円(稅込)

耳より情報 — Attention Please

第31回日本精神科看護専門学術集会は、山口県下関市で開催します。前日の10月25日(金)には、山口県支部の60周年式典、および映画『オ レンジ・ランプ』のモデルとなった丹野智文氏を講師に迎え、市民公開講座を開催予定です。ぜひご参加ください。

演題募集

●一般演題 A (看護研究報告、業務改善報告、実践報告) >> 応募受付期間 2024/4/1(月) ~ 5/31(金)

●一般演題B(ワークショップ・交流セミナー) >> 応募受付期間 2024/5/1(水) ~ 5/31(金)

18

●精神科認定看護師実践報告 >> 応募受付期間 2024/5/1(水) ~ 5/31(金)

学術集会にかかわる情報は、日精看オンラインおよび学術集会専用ページ (jpna-gakujutsu.jp) を通じてお知らせしています。

精神科認定看護師制度

現行制度の教育課程は2024年度(令和6 年度) が最後、2025年度 (令和7年度) は 精神科認定看護師制度を改正します。新し い制度の詳しい情報や精神科認定看護師の 活動は、日精看オンラインでご確認ください。

jpna.jp/education

診療報酬の算定

下記の診療報酬には、精神科認定看護師が算定要件に含まれています。

- 療養生活継続支援加算 機能強化型訪問看護管

 - 理療養費
- 認知症ケア加算 ● 精神科リエゾンチーム加算



2024年度 (令和6年度) 精神科認定看護師教育課程 カリキュラム一覧

	記号	研修会名	日数	定員	開催方法	日程	科目名 (単位数)	会員受講料 稅込価格	非会員受講料 稅込価格
研修会(基礎科目・専門基礎科目・専門科目)	A	精神科看護基礎 精神科看護の基本	4	80	集合	4/7(日)~4/10(水)	看護倫理(1)、精神科看護学(1)	26,400円	52,800円
	В	精神科看護基礎 II 精神科看護の制度と管理	6		ライブ配信	4/15(月)~4/20(土)	精神科看護に関連した法規と制度 (2)、 医療安全管理 (1)	39,600円	79,200円
	С	精神科看護基礎III 精神科看護の実践知の蓄積と活用	4			4/23(火) ~ 4/26(金)	情報管理と表現法 (1)、看護研究 (1)	26,400円	52,800円
	D	対象理解 医学的モデルによる対象理解	8			4/29(月) ~ 5/2(木) 5/4(土) ~ 5/7(火)	精神科診断治療学(4)	52,800円	105,600円
			6			5/10(金) ~ 5/15(水)	臨床薬理学 (2)、精神薬理学 (1)	39,600円	79,200円
			6		集合	5/18(土) ~ 5/23(木)	フィジカルアセスメント (3)	39,600円	79,200円
	Е	対象理解 II 精神保健福祉における個別課題	6	80	ライブ配信	5/26(日) ~ 5/31(金)	精神保健福祉 (2)、家族援助論 (1)	39,600円	79,200円
	F	精神科看護 看護状況	4			6/3(月) ~ 6/6(木)	精神科救急・急性期看護 (1)、 行動制限最小化看護 (1)	26,400円	52,800円
	G	精神科看護 II 地域生活を支える看護	4			6/9(日) ~ 6/12(水)	退院支援 (1)、精神科訪問看護 (1)	26,400円	52,800円
	Н	組織内における活動	6			6/15(土) ~ 6/20(木)	看護サービス論 (1) 、 リーダーシップ論 (1) 、教育論 (1)	39,600円	79,200円
	1	チーム医療	6	40	集合	7/1(月) ~ 7/6(土) 7/14(日) 7/19(金)	コンサルテーション論 (1)、チームアプローチ論 (1)、リエゾン精神看護 (1)	39,600円	79,200円
	J	患者 - 看護師関係 援助関係	4			7/9(火)~7/12(金) 7/22(月)~7/25(木)	対人関係論 (1)、精神科看護学 (1)	26,400円	52,800円
演習		演習	4	80		8/3(土)~8/5(月)、 2025/1/12(日)~13(月)	演習 (1)	44,000円	88,000円
実習		実習Ⅰ	18			実施施設・自施設で 9月〜12月に実施	実習! (3)	66,000円	132,000円
7.1		実習Ⅱ	12				実習 (2)	44,000円	88,000円
中間試験		中間試験	1		集合	8/2(金)	基礎科目、専門基礎科目の単位認定を 実施	6,600円	13,200円

※講義時間:9時~16時 ※集合研修の会場:東京研修会場(演習は東京研修会場およびその近隣) ※補講日:7/28(日)~7/30(火)、8/12(月)、2025/1/17(金)

2025年度(令和7年度)精神科認定看護師制度がリニューアル!

今回の制度改正では、カリキュラムを大幅に見直しました。オンラインと集合研修で学習を深めていきます。 「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムへ参画できる看護実践力」「臨床推論を活用した心身両面 へのアプローチ」を身につけて精神科認定看護師として活動してみませんか。

● 精神科認定看護師をめざす方のための説明会

日 程:2024/6/1(+)

開催方法:集合(東京研修会場)・オンライン によるハイブリッドを予定

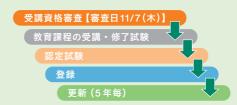
容: 制度の概要、精神科認定看護師の実践 報告などさまざまな情報を提供します

参加 費: 無料

申込方法:「manaable(マナブル)」からお申し 込みください

● 精神科認定看護師制度の概要

出願要件:看護師の免許取得後 5年以上 そのうち3年 以上は精神科看護の実務経験が必要です



日 程:10/13(日)~ 10/14(月)

内 容:開催方法・プログラム は日精看オンライン等 でお知らせします

精神科認定看護師

ブラッシュアップ研修会

精神科認定看護師のための実践

力を高めることをねらいとした研

修会です。お申し込みは、精神科 認定看護師の方に限ります。

会員受講料:1日あたり6,600円 (税込価格)

研修会のお申し込みは「manaable (マナブル)」で

日精看の研修会(本部・支部)へのお申し込みやオンライン研修会の受講には、1人ずつ「manaable(マナブル)」の利用登録が必要です。登録や利用の方法は、日精看オンラインでマニュアルをご参照ください。

①会員価格で受講する場合

●2023年度会員(継続入会)の方(退会届を提出された方を除く)

2024年度も会員価格で研修会のお申し込みが可能です。「manaable (マナブル)」の利用が初めての方は利用の新規登録後、研修会の申し込みを行ってください。なお、2024年度の会費の納入がお済でない方は受講開始までに会費の納入をお願いいたします。

●2024年度新規入会の方、再入会の方

研修会の申し込み時に会員であることが必須です。2024年度の入会手続き後、会員証が手元に届いてから、「manaable (マナブル)」に利用の新規登録を行い、研修会の申し込みを行ってください。

②非会員の場合

「manaable(マナブル)」の利用が初めての方は利用の新規登録が必要です。登録がお済の方は、「manaable(マナブル)」にログインして研修会の申し込みを行ってください。

|日精看オンラインからアクセス!|

パソコンでもスマホでも



このバナーをクリック!

これからはじまる!精神障がい者への 適切なケアを行うための倫理教育推進事業

精神保健福祉法の改正により、各施設には精神障がい者の権利擁護体制の充実や虐待防止が求められています。そこで、2024年度は、本部、支部、各施設が一体となって全国の精神科看護職の倫理教育を推進するために、精神障がい者への適切なケアを行うための倫理教育推進事業を実施しま

す。本部と支部で開催する研修会では、精神科看護職の倫理綱領の意味を理解し、倫理的感受性を養うことはもちろんですが、質の高い看護実践に結びつく知識や技術の習得を目的としています。各施設で倫理教育を担うことができる指導者の養成にご活用ください。

【本部】全国規模で質の高い看護師を育成

研修会名: 倫理研修講師育成研修会

b: 看護倫理に関する学習指導や 教育活動に携わる者を養成

実施方法:集合研修 研修時間:7時間(1日) 受講者数:50名

【支部】都道府県単位で看護師の指導力を強化

研修会名:看護倫理指導者養成研修会

b:倫理的観点から組織風土の醸成に 資する能力を習得した指導者の養成

実施方法:集合研修研修時間:4時間 受講者数:50名

【事業のアウトカム】

精神科医療機関密着型の教育事業を推進し、 1年間で30,000名の倫理教育修了者を輩出します。

本部主催

倫理研修講師育成研修会

全国規模で質の高い 看護師を育成

支部主催

看護倫理指導者養成研修会 都道府県単位で看護師の指導

力を強化



所属施設内の研修会

各施設の組織風土の醸成を図る